

Scandinavian Summer House Vintage Furniture & Objects

美しい暮らしをつくる、スカンジナビアンデザイン



photo: Akiko Baba / Styling: Fumiko Sakuhara

家具をはじめ、アートやクラフトなど、思考や感性を刺激するアイテムの提案を通して、美意識のある暮らしを探求するイデーが、2018年あらためて注目している北欧の人々の「暮らしへの意識」。

20世紀初めスウェーデンの美術史家グレゴール・パウルソンが提唱した『日用品をより美しく』、社会思想家エレン・ケイの『すべてを美しく』などの啓蒙運動は、北欧の人々の美意識と生活文化を高めてきました。美しいデザインは一部の特別な人だけが楽しむためのものではなく万人のためにあり、自分たちの生活を豊かにするものであるという「市民のためのデザイン」の思想が、北欧デザインの根底に息づいています。機能とデザインを兼ね備えた優れたプロダクト、伝統を受け継ぐ姿勢、自然との調和を大切にしている思考、生活の中に小さな愉しみを見出す視点など、毎日を美しく暮らすことの、かけがえのない心地よさを私たちに教えてくれます。北欧企画第二弾は、「Scandinavian Summer House Vintage Furniture & Objects」と題して、今年2月に買い付けてきたヴィンテージ家具やオブジェとともに、様々な企画展をご紹介します。夏のひとときを、大切な人とサマーハウスでのんびり過ごす北欧の人々。都会の喧騒を忘れ、自然の中で静かな時間を過ごす心安らぐ場所。イデーでは、そんな北欧のサマーハウスをイメージし、お部屋にヴィンテージアイテムや北欧のエッセンスを加えて、家の中でも気分を変えて日常を楽しむ夏の暮らしをご提案します。

Scandinavian Summer House Vintage Furniture & Objects

会期： 2018年6月29日（金）～8月31日（金）イデーショップ 自由が丘店 / アタッシュェ ドウ イデー
 2018年7月20日（金）～8月31日（金）イデーショップ 二子玉川店 / 六本木店 / 日本橋店 / 梅田店 /
 イデーショップ ヴァリエテ 渋谷店 / 柏店 / デリエ イデー

今年2月スウェーデンを巡り買い付けてきた200点を超えるヴィンテージ家具やオブジェがまもなく店頭に着きます。デザイナーの高い意識と、クラフツマンの確かな仕事が詰まった“美しい暮らしをつくる”ものたち。デザイナーの名作からアノニマスなアイテムまで、機能性とデザインの美しさを兼ね備え、愛着を持って使い続けられる逸品が揃います。この夏、イデーショップに集まる北欧のプロダクトとともに、なにげなく過ごしている日常の時間を、愛おしく幸せなものに変えていきませんか。ぜひご注目ください。



Erik Höglund Exhibition / エリック・ホグラン展

会期：2018年6月29日（金）-7月30日（月）

会場：イデーショップ 自由が丘店 3階 GALLERY AND BOOKS

イデーショップ 自由が丘店の GALLERY AND BOOKS では、スウェーデンを代表するガラスアーティスト Erik Höglund の展示会を開催します。今年2月にスウェーデンを巡り買い付けた彼の代表的な作品であるシャンデリアや燭台を始め、フラワーベースやオブジェ、鏡やリトグラフなど、あまり日本では見かけることが少ない珍しいアイテムもご用意いたします。ヨーロッパの土着文化や南米/アフリカの民藝にインスパイアされたプリミティヴな作風に、スウェーデンの伝統的なガラスを調和させた作品は、素朴さの中に洗練さを併せ持つデザインが魅力です。また、期間中展示会場では、すでに絶版となった作品集の販売やブレーキング美術館から預かった映像の上映なども予定しています。作品だけではなく、彼のものづくりの背景や人柄を知ることができる貴重なこの機会に、ぜひお越しください。



Erik Höglund/ エリック・ホグラン

1932～1998。ストックホルムの Konstfack（国立芸術工芸デザイン大学）で彫刻を学んだ後、1953年にBODA社（現 Kosta Boda）にデザイナーとして入社、表情豊かで個性的な作品を多数発表。1957年にはBODA社での作品が評価され、北欧においてデザインの最も権威あるルニグ賞を獲得。手のぬくもり溢れるプリミティヴな作風は、北欧のガラス工芸に新しい風を吹き込みました。

Lisa Larson Fair / リサ・ラーソン フェア

会期：2018年7月20日（金）-8月20日（月）

会場：デリエ イデー/イデーショップ ヴァリエテ 柏店/
イデーショップ 梅田店

イデーのWebマガジンLIFECYCLINGでも、その素敵であたたかい暮らしぶりを紹介している陶芸家リサ・ラーソン。自由が丘店に続き、各店でフェアを開催します。一つ一つ表情が異なる動物の作品から珍しいヴィンテージまで、個性豊かな作品たちを取り揃えました。特に彼女が Gustavsberg 社在籍時代（1954-1980）からフリーランス時代（1980-1992）のヴィンテージアイテムは、現在では制作されていないデザインも多く、希少性と経年変化の魅力から大変人気があります。スウェーデンから届いた温もりのある作品を、ぜひこの機会にご覧ください。



協力：dieci

POOL POP UP SHOP

会期：2018年7月25日（水）-8月7日（火）

会場：銀座三越7階GINZA ステージ（東京都中央区銀座4-6-16）

「POOL いろいろの服」2018AW最新コレクションを先行販売いたします。新デザインの「ギャザーブラウス」、「アトリエシャツワンピース」をいち早くご紹介すると共に、「コロコロのもの」「エブリデイハンカチーフ」、鹿児島県の社会福祉施設「しょうぶ学園」の作品など、POP UP SHOPでしか手に入らない作品やスペシャルアイテムもご用意しております。ぜひお越しください。

■トークイベント

「POOL」の監修を務める minä perhonen のデザイナー皆川 明氏を迎え、トークイベントを開催します。

日時： 2018年7月28日（土）14:00～15:00

会場： 銀座三越7階 エスカレーター前特設会場

予約方法：銀座三越公式ウェブサイトからご予約ください。

<http://www.mitsukoshi.co.jp/ginza>



■銀座三越限定スペシャルアイテム

「いろいろの服」に、皆川明氏のイラストを刺繍した限定商品が登場します。各アイテム各色10点の数量限定販売。（上写真）

Ayako Motonaga Exhibition

会期：2018年8月3日（金）～27日（月）

会場：イデーショップ 自由が丘店



動物、人、ものなど独特な視点とインスピレーションで日常の断片を繊細な線で丁寧に描く、美術家・元永彩子さん。シュールとユーモアが混在する不思議な世界感の作品は、見る人の想像力を掻き立て魅了します。ドローイングのみならず、古い紙や布などに絵や刺繍を施した作品作りをする元永さんが、本展では、イデーがセレクトしたヴィンテージのカットボードや紙など、北欧で使われていた生活の道具やモノをキャンバスに、そのモノから得たインスピレーションで描いた作品を発表します。なお、今回は立体的な作品にも取り組んでおり、彼女の作り出す新しい世界をご覧いただける機会になります。ぜひご注目くださいますようお願い申し上げます。

元永彩子展

会期：2018年8月3日（金）～27日（月）

会場：イデーショップ 自由が丘店

東京都目黒区自由が丘 2-16-29 TEL：03-5701-7555

Open：11:30～20:00（土日祝：11:00～20:00）

★オープニングレセプション：8月3日（金） 18:30～20:00

会期初日の8月3日（金）には元永さんを囲みレセプションパーティーも開催します。大阪で鶏と野菜のタンドール料理専門店「TORI FOOD」を営まれている元永さんのご主人と、ワインのおつまみ研究科の大橋みちこさんによるフードをご用意いたします。

プロフィール：

元永彩子 / AYAKO MOTONAGA（美術家・イラストレーター）

2007年に京都市立芸術大学／美術学部／構想設計専攻卒業。在学中はアニメーションを制作。卒業後、デザイン会社を経て、2009年よりドローイングを描き始め、2011年より本格的に活動を開始。ファッションブランド minä perhonen や森岡書店 銀座店等での個展を中心に、雑誌「SPUR」のイラスト制作や企業のVI等も手がける。